

## 日本学術会議主催学術フォーラム

# 『新型出生前診断の広がりや遺伝医療の発展への対応： ヒトの遺伝と遺伝性疾患の正しい理解に向けて』

日時：平成25年9月7日（土）13:30～16:30

場所：日本学術会議 講堂 （東京メトロ千代田線乃木坂駅5番出口1分）

### <開催趣旨>

社会における遺伝リテラシーの定着と、遺伝医療の正しい発展のためにはどのような方策や配慮が必要であるのか、教育関係者、人類遺伝学や遺伝性疾患・遺伝医療の専門家、行政関係者などにより、課題の所在を明らかにし、学術会議として何が出来るかを議論する。

### プログラム

13:30 開会の挨拶：山本正幸（日本学術会議第二部長、かずさDNA研究所長）

13:40 講演Ⅰ：「新型出生前診断 指針作成までの道のり」

久具宏司（日本学術会議連携会員、東邦大学教授）

14:20 講演Ⅱ：「非侵襲的出生前検査の現状と課題」

関沢明彦（昭和大学教授）

15:00 （休憩）

15:10 パネルディスカッション（16:30 終了）

（パネリスト）：白石直樹（都立豊島高校教諭）、櫻井晃洋（札幌医科大学教授）、

福嶋義光（日本学術会議連携会員、信州大学教授）

司会：室伏きみ子（日本学術会議第二部会員、お茶の水女子大学寄附研究部門教授）

### （問い合わせ・申し込み先）

申込先：日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL：03-3403-6295 FAX：03-3403-1260

申込みフォーム：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>